

第2学年〇組 数学科学習指導案

令和7年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 連立方程式

2 単元の目標

- (1) 二元一次方程式と連立方程式の意味、及びその解の意味を理解したり、簡単な連立方程式を解いたりすることができる。
- (2) 一元一次方程式と関連付けて、連立方程式の解き方を考察し表現したり、連立方程式を具体的な場面で活用したりすることができる。
- (3) 連立方程式を用いることのよさに気付いて粘り強く考え、学んだことを生かそうとしたり、活用した問題解決の過程を振り返ろうとしたりする。

3 学習の計画 (12時間完了)

- 第1次 第1時～第2時 二元一次方程式、連立方程式とその解の意味について考える。
- 第2次 第3時～第7時 連立方程式の解き方を理解し、いろいろな連立方程式を解く。
- 第3次 第8時 連立方程式を利用して、身の回りの問題を解決する。
- 第9時 代金・割合に関する問題を連立方程式を利用して解決する。
- 第10時 速さ・時間・道のりに関する問題を連立方程式を利用して解決する。
- 第11時（本時） 文章問題を連立方程式を利用して解決する。
- 第4次 第12時 連立方程式に関する問題を解き、学習のまとめをする。

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。
 - 連立方程式を利用して問題を解決するために、粘り強く取り組もうとする。
- (2) 準備・資料
 - 生徒……タブレット端末
 - 教師……電子黒板、タブレット端末
- (3) 関 連
 - 1年 数学 一元一次方程式（一次方程式を利用して問題を解決する）
 - 3年 数学 二次方程式（二次方程式を利用して問題を解決する）
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
課題把握	1 本時の学習課題を知る。 (1) 連立方程式の利用問題の解き方を確認する。 ・未知数を文字にする。 ・文字を使った方程式を2つつくる。 ・加減法あるいは代入法を使い、方程式の解を求める。 ・方程式の解が問題にあっているかどうかを確認し、答えを書く。 (2) 本時の学習課題をつかむ。 連立方程式を利用するさまざまな問題を解こう。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までに学習した連立方程式を利用する問題の解法を確認する。 ○解決の糸口として言葉の式や線分図、表を使うとよいことを確認する。 ○解く手順を板書して、いつでも確認できるようにする。

